

令和元年度 2 学期

1 令和元年度県 P T A 活動研究委嘱公開

- (1) 期日 令和元年11月30日（土）
- (2) 場所 いちき串木野市市民文化センター
- (3) 実際

約600人の地区内 P T A 会員や学校関係者の方々等の参加の中、大会を開催しました。大会は、荒川小の子どもたちによる荒川太鼓の演奏、旭小の子どもたちによるゲタタップ、串木野西中 P T A のダンスで幕を開けました。



〔 オープニングの様子 〕

開会行事でのいちき串木野市 P 連の富永会長等のあいさつの後、「心豊かで健全な子どもを育てる P T A 活動はどうあればよいか～親子で取り組む生活習慣づくり～」のテーマに沿って、旭小、荒川小、串木野西中の研究発表がありました。質疑や指導助言の後、増田クリニックの増田彰則院長が、「睡眠不足とメディアから子どもの脳を守る」を演題に講演されました。参加された P T A 会員の方々は、うなずきながら真剣に聞いていました。大会を通して、生活習慣の確立の重要性を改めて確認し、各家庭・P T A で取り組むためのよい機会となりました。

2 鹿児島地区子ども会大会指導者・育成者研修会

- (1) 期日 令和元年12月7日（土）
- (2) 場所 いちき串木野市市民文化センター
- (3) 実際

約640人の各子ども会員や指導者の方々等の参加の中、大会を開催しました。オープニングを大里虫追踊保存会が飾り、松尾地区子連会長といちき串木野市の有村教育長のあいさつの後、地区子連表彰や県表彰の伝達がありました。大会では、各市子連の研修事業や単位子ども会の活動発表がありました。創作活動では、子どもたちは



〔 創作活動の様子 〕

5会場に分かれ、日置市の「チェスト」といちき串木野市の「チェリーブロッサム」の2つのジュニア・リーダークラブの指導を受け、フォトフレームづくりに取り組みました。また、指導者・育成者研修会では、防衛医科大学校の高橋聡美教授が「親子で育む自尊感情」と題して、子どもとの関わり方等について、自分の家庭の話も交えながら、わかりやすく講演をされました。子どもも大人も充実した大会となりました。

1 令和元年度日置地区公民館経営研究会

- (1) 期日 令和元年10月9日（水）
- (2) 場所 東市来文化交流センター
- (3) 実際

公民館関係者約60人の中，研究会は開かれ，皆田地区公民館長の脇田敏秋氏が「皆田地区公民館における地域活性化への取組について」をテーマに，廃校後の皆田小学校を地区公民館として活用し，地域活性化を図った取組について発表されました。



〔事例発表をする脇田館長〕

語らいの中で課題と解決策を見つけ，安心・安全な活気ある皆田の郷づくりを基本理念として，様々な行事や事業を工夫していました。特に，住民だけで「憩いの場（ピザ窯・釜戸）」を作ったり，「キクイモ」などの特産品を開発したりするなど多彩な取組が行われていました。参加者からは「少子高齢化等の地域課題が山積する中で，前向きに工夫しながら取り組んでいる姿はすばらしい。」等の感想が寄せられました。

その後は，鹿児島大学法文学部の酒井准教授をコーディネーターに講話とグループワークを行いました。学生の力を地域に取り入れていく「アクティブ・ゼミ」で得られた失敗事例をもと，「持続可能な地域づくり」で気を付けること等についてご講話をいただき，「何のための連携・協働か」，「地域の大人が変わらないといけない」，「リーダーが居なくなっても存在する組織」等、持続可能な地域づくりについて，多くの示唆を与えていただきました。グループワークでは地域課題を出し合い，その解決について意見交換「若者が意見を言える場の工夫」などの発表もあり，参加者が公民館活動や地域の活性化のための大きなヒントを得ることができました。